

令和2年第1回西予市議会定例会厚生常任委員会会議録

- |             |             |              |                                  |
|-------------|-------------|--------------|----------------------------------|
| 1. 開催日時     | 令和2年 2月27日  | 環境衛生課長補佐     | 兵頭 章夫                            |
| 1. 開催場所     | 西予市議会第2委員会室 | 環境衛生課係長      | 源 琢哉                             |
| 1. 開 会      | 令和2年 2月27日  | 健康づくり推進課長補佐  | 井上 理恵                            |
|             | 午前 8時58分    | 健康づくり推進課保健師長 | 佐々木 靖子                           |
| 1. 散 会      | 令和2年 2月27日  | 健康づくり推進課係長   | 二宮 真紀                            |
|             | 午前11時59分    | 健康づくり推進課係長   | 土居 靖史                            |
| 1. 出席委員     |             | 福祉課長補佐       | 大野本 敦                            |
| 委員長         | 源 正樹        | 長寿介護課長補佐     | 信宮 佳子                            |
| 副委員長        | 加藤 美香       | 長寿介護課保健師長    | 三瀬 穂津美                           |
| 委員          | 信宮 徹也       | 長寿介護課係長      | 柴田 直樹                            |
| 委員          | 河野 清一       | 長寿介護課係長      | 野本 伸治                            |
| 委員          | 二宮 一朗       | 子育て支援課係長     | 清家 昌弘                            |
| 委員          | 宇都宮 明宏      | 子育て支援課係長     | 村上 真紀                            |
| 委員          | 酒井 宇之吉      |              |                                  |
| 1. 欠席委員     |             | 1. 出席議会事務局職員 |                                  |
| なし          |             | 書記           | 三好 祐介                            |
| 1. 出席説明員    |             |              |                                  |
| 医療介護部長      | 山岡 薫彦       | 1. 会議に付した事件  |                                  |
| 生活福祉部長      |             | 議案第28号       | 令和元年度西予市一般会計補正予算(第8号)            |
| 兼福祉事務所長     | 藤井 兼人       | 議案第29号       | 令和元年度西予市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号) |
| 西予市民病院事務長   | 松末 博        | 議案第30号       | 令和元年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)      |
| 野村病院事務長     | 三瀬 功        | 議案第31号       | 令和元年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)     |
| つくし苑事務長     | 岩本 博文       | 議案第32号       | 令和元年度西予市介護保険特別会計補正予算(第4号)        |
| 市民課長        | 松本 豊和       | 議案第37号       | 令和元年度西予市病院事業会計補正予算(第2号)          |
| 環境衛生課長      | 佐々木 邦仁      | 議案第38号       | 令和元年度西予市野村介護老人保健施設事業会計補正予算(第3号)  |
| 健康づくり推進課長   | 沖村 智        |              |                                  |
| 福祉課長        | 長野 静香       | 1. 会議の経過     | 別紙のとおり                           |
| 長寿介護課長      | 宇都宮 積矢      |              |                                  |
| 子育て支援課長     | 松田 禎子       |              |                                  |
| 明浜生活福祉課長    | 三好 忠利       |              |                                  |
| 三瓶生活福祉課長    | 井上 又文       |              |                                  |
| 西予市民病院事務長補佐 | 竹内 寿男       |              |                                  |
| 西予市民病院係長    | 兵頭 真        |              |                                  |
| 西予市民病院係長    | 沖野 貴洋       |              |                                  |
| 西予市民病院係長    | 矢野 直子       |              |                                  |
| 野村病院事務長補佐   | 富永 一彦       |              |                                  |
| 野村病院係長      | 村田 真理       |              |                                  |
| つくし苑事務長補佐   | 垣内 千幸       |              |                                  |
| 医療対策室長      | 亀岡 敦志       |              |                                  |
| 人権対策室長      | 森川 圭三       |              |                                  |
| 市民課長補佐      | 榊田 寿美子      |              |                                  |
| 市民課係長       | 二宮 夕子       |              |                                  |
| 市民課係長       | 西村 由起       |              |                                  |
| 環境衛生課長補佐    | 大塚 義導       |              |                                  |

開会 午前8時58分

**○加藤副委員長**

これより令和2年第1回定例会厚生常任委員会を開会いたします。

開会にあたり委員長より挨拶があります。

**○源委員長**

委員長が挨拶を行う。

**○加藤副委員長**

次に、山岡医療介護部長より挨拶をよろしくお願いたします。

**○山岡医療介護部長**

山岡医療介護部長が挨拶を行う。

**○加藤副委員長**

議案審査に移る前に注意事項を申し上げます。発言の際には、委員長の許可を得て発言をしてください。

また、委員会室への携帯電話の持ち込みはご遠慮ください。

これより先の進行は委員長が行います。

**【医療介護部】**

**【市民病院・野村病院】**

**○源委員長**

これより本日の会議を開きます。

最初に医療介護部所管分になります。

議案第37号「令和元年度西予市病院事業会計補正予算（第2号）」についてを議題といたします。

松末事務長より説明を願います。

**○松末西予市民病院事務長**

議案第37号「令和元年度西予市病院事業会計補正予算」西予市民病院分についてご説明申し上げます。

今回の補正は、令和元年度の実績及び決算見込みをもとにしたものでございます。お手元の西予市病院事業会計補正予算書29ページをお開きください。

事項別明細書により主なものにつきましてご説明いたします。

まず、1款病院事業収益、1項医業収益、1目入院収益でございます。年間患者数は2,196人減の3万7698人を見込んでおりますが、診療単価の上昇を反映して5885万3000円を増額し、12億5567万3000円といたしております。

次に、2目外来収益でございます。年間患者数

を488人増の4万8312人を見込むとともに、診療単価の上昇を反映して4672万4000円を増額し、6億1104万7000円といたしております。

3目その他医業収益では、全体で9万8000円を増額しております。内訳としまして、1節の室料差額収益を実績見込みに応じて150万円減額しております。2節の公衆衛生活動収益では105万5000円増額しております。健康診断料の増額でございます。5節の他会計負担金では40万円を増額しております。救急医療確保に係る一般会計繰入金の増額でございます。次に、6節その他医業収益では14万3000円を増額しております。病院群輪番制運営収益の収入の増額でございます。

次に、2項医業外収益でございます。2目他会計補助金では、全体で446万1000円の減としております。研究研修費等の一般会計からの繰入金を実績見込みにより補正するものでございます。

続いて30ページをお開きください。

3目補助金では21万9000円を増額しております。松野町国保診療所への医師派遣に対する県補助金でございます。

4目負担金及び交付金では、全体で171万6000円の増としております。内訳としまして、高度医療を78万1000円減額、リハビリ医療を249万7000円増額しております。いずれも一般会計からの繰入金でございます。

10目事業所内保育・病児保育運営収益では、スマイル保育園に係る収益を実績見込みに応じて2249万8000円減額しております。

続いて、3項特別利益であります。過年度損益修正益を100万円増としております。これは、過年度におけるレセプト請求後の医療点数の修正益でございます。

続きまして31ページの病院事業費用についてご説明いたします。

1款病院事業費用、1項医業費用、2目材料費でございます。2節の診療材料費を1700万増額しております。これは、手術件数の増などに伴う増額でございます。

次に、3目の経費では240万4000円を減額しております。これは、職員のスマイル保育園利用に係る保育料助成金を実績見込みで減額するものでございます。

続いて、2項医業外費用でございます。全体で1649万8000円の減としております。2目雑支出

では、控除対象外消費税の実績見込みから500万円の増としております。

6目事業所内保育・病児保育運営費では、全体で2249万8000円を減額しております。スマイル保育園に係る経費を実績見込みにより減額するものでございます。

次に33ページをお開きください。

資本的収入についてご説明いたします。1項出資金では165万円の減としております。これは、看護師等奨学資金貸し付けに係るもので、貸付人数の減によるものであります。

続いて、3項の企業債では1180万円の減としております。これは、医療器械の購入に係るもので、実績見込みによる減額であります。

次に34ページの資本的支出でございしますが、1項建設改良費及び3項投資であります。医療器械の購入に係る199万7000円の減並びに、看護師等奨学資金貸し付けに係る165万円の減でございます。なお、医療情報システム整備事業につきまして、契約額の決定により、継続費の総額、令和2年度の年割額の変更を行っております。

最後に35ページのたな卸資産購入限度額でございしますが、これは、手術件数の増などに伴う診療材料購入費の増加を勘案したものでございます。

以上、令和元年度西予市病院事業会計補正予算（第2号）西予市民病院分についてのご説明を終わらせていただきます。

#### ○源委員長

続きまして、野村病院分について三瀬事務長より説明をお願いします。

#### ○三瀬野村病院事務長

野村病院についてご説明を申し上げます。予算書37ページをお願いいたします。

1款1項医業収益でございしますが、入院・外来収益とも患者数は減少しておりますが、1人当たりの診療単価が増となりまして、1目入院収益は851万円の増、2目外来収益は5110万9000円を増額するものでございます。

3目その他医業収益では、他会計負担金の救急医療確保実績見込みに伴い413万4000円を増額いたします。その他医業収益の診療所等診療委託収入、この中に含まれておりますつくし苑への医師派遣分832万円を計上しておりますけれども、診療報酬としての収益ではないということで予算組み替えをさせていただきます。したがって、

医業収益は全額減額としたものでございます。

次に、2項医業外収益、2目他会計補助金は540万9000円を減額するものでございます。研究研修費など、本年度実績見込みから減額となります。

4目負担金及び交付金では、リハビリ医療の30年度実績に基づき、負担が確定したことによりまして487万7000円を増額いたします。

8目その他医業外収益、さきに説明しましたつくし苑への医師派遣分の組み替えをこの費目で計上するものでございます。

次のページ、3項特別利益でございしますが、過年度損益修正益として206万8000円を増額計上いたしました。

続きまして39ページでございしますが、1款1項2目材料費は、注射薬品が実績見込みによりまして1140万円の増額、内服薬品は150万円の減額という見込みで補正をさせていただいております。

3目経費につきまして、来援医師旅費42万円の増額、その他委託料は、看護助手の民間委託を見込み予算計上しておりましたが、本年度は実施の必要がなく全額減額といたしました。

6目研究研修費は、実施見込みから研究材料費など180万円の減額をするものでございます。

2項医業外費用、2目雑支出の控除対象外消費税500万円の増額は、10%への増税分を見込んだところでございます。

3項4目過年度損益修正損として1030万円を前年度決算に基づき調定減として計上いたしました。

40ページでございしますが、1款3項企業債2490万円の減は、医療機器の購入及び医療情報システムの発注実績による調整でございます。

続いて、41ページの1款1項建設改良費、2目固定資産購入費は、医療器械購入において、眼科のマルチカラーレーザーについては今年度導入しないということになりまして、全額1269万円を減額したところでございます。

以上で野村病院の説明を終わらせていただきます。

#### ○源委員長

以上で説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑はありませんか。

#### ○二宮委員

ちょっと知識不足で申しわけないんですけど、

巡回診療は野村病院とは全く関係ないということですか。城川とか車のやつは。

### ○三瀬野村病院事務局長

移動診療車の診療報酬につきましては、野村病院の診療収入に入っております。

### ○源委員長

ほかに質疑はありませんか。

### ○酒井委員

研修費の減額だとかそういうことについては、最終的に5月の決算、6月定例に普通減額するでしょう。そういう処置の仕方のほうが私はいいと思うんですけども、研修費の減額、野村病院あったでしょ。そういうことは、今、この3月に減額すべきではないんじゃないかと。例えば、コロナウイルスのいろんな研修が今度また特別に出たりとか、いろんなもの換算したりしてやるべきものであって、いついかなるときにそういうものが出るやらわからんのに、この3月のときに減額補正を上げるというのは、私はいかがかと思います。

実際から言えば、これから、私も今度一般質問にコロナウイルスの件を出しておりますけど、深くはこの件は余り聞きませんが、こういう問題が、今国挙げての問題があるときに、そういう問題をコロナの研修が先生も聞けるか聞けないかっていうような問題まではあるわけです。研修費の減額が今いいかどうかということをお尋ねさせていただきます。

というのは、5月の最終の予算の未執行でやられるほうがいいんじゃないかと思いましたが一言付しておきます。

### ○山岡医療介護部長

今回の提案では、特に年度末まで見込める予定の研修も含めて調整していると思います。ただ議員ご指摘のように、通常にない今動きといいますか対応しなくちゃいけない部分がありまして、もう既に医師のほうがそっちの会合に出たりとかということも既に今ある部分もございます。

今回は先ほど申しましたように、見込み分を含めて調整しておりますけど、今後必要な部分については、全体の費用の中で緊急的に対応していきたいと思いますが、来年度以降の予算では、先ほどご指摘いただいたこと等も留意して進めたいと思います。

### ○酒井委員

私今度質問するのは、危機管理という形で質問

するわけでございますけども、こういう問題が起きたときに対応できる、医者も自由に動ける、そしてある程度の予算の中に狭めてしまうのではなしに、そういうものを作って危機管理という考え方で、ある程度余裕を持てるような、そして、漫然と、国上げてのそういう問題が出るとときに減額するのはいかがかというだけのことであって、社会情勢だとか、国の今の情勢、そして世界中のコロナに対する問題、そういうものを含めたら、逆に言えば、看護師が研修に行くときにも、医師の研修とかいろんなものを使えるわけで、そのあたりも含めた形でやれるような臨機応変の危機管理の対応力というのが必要であるということを申し添えておきます。

### ○源委員長

ほかに質疑はありませんか。

### ○加藤副委員長

31ページのマテリアル費のところなんですけど、手術件数が増えたので1700万円の増額ということなんですけど、通常どれぐらい1年間に手術をされてて、今回どれぐらい増えるということになってるんでしょうか。

### ○源委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午前9時20分)

### ○源委員長

再開を告げる。(再開 午前9時20分)

### ○松末西予市民病院事務局長

手術件数でございますが、今年度1月末現在で324件あります。そのうち外科が103件、泌尿器科が76件、整形外科が145件であります。前年度比が、外科が前年度76件で27件の増、泌尿器科が前年度74件で2件の増、整形外科は、前年度常勤医師がございませんでしたので、皆増の145増ということで、全体的には、前年度が150件、ことしが324件ということで174件増ということになっております。それに伴いまして診療材料費が上がっているということでございます。

### ○山岡医療介護部長

今の関連なんですけど、今年度から整形外科医2名着任いただいて、1名は光長医師が十全から来ていただいているんですけど、今後の医師確保、あるいはその中核的な研修施設として、認定施設として、整形外科の認定施設を取るために、光長医師が精力的に、そういう症例を上げないと認定施設として認められないので、そういった動きも

精力的に行っていただいて、その申請を11月にして、今年度2月に審査を受けて認定施設をとるよう進めているところでして、またそれによって、今後医師がそういった専門医を取るためのキャリアとして、そこで研修、あるいは勤務したいということも増えてきますので、そういうものも含めて取り組んでいることのあらわれでもありません。

#### ○源委員長

ほかに質疑はありませんか。

#### ○信宮委員

西予市民病院の31ページの事業所内保育と病児保育の運営費が、実績見込みにより2200万の減ということなんですけど、この実績見込みの減というのは、病児保育に来られるお子さんが少なくなったということなのか、細かい数字は要らないんですけれども、余裕を持ってこの施設が運営できているのか。また事業所内保育施設は働く医療スタッフのためにということであつて、その医療スタッフさんのお子さんがきちんとここに入って運営されているのか、その辺、細かい数字は要りませんが、その流れだけお願いします。

#### ○松末西予市民病院事務長

31ページの事業所内保育・病児保育の運営費の減額につきましては、主に人件費によるものでございます。今年度、新任の園長が来まして、園長の給与単価が下がったというようなこともありますし、育休の代替職員が雇用できなかったというようなこともありまして、人件費部分で減額になったところでございます。

利用状況につきましてなんですけども、スマイル保育園の入所状況です。定員15名なんですけど2月現在で15名のお子さんが入所しているということでございます。そのうち医療スタッフの従業員枠が9名であります。地域枠が6名ということで、育休からの早期復帰に役立っております、非常に病院としては助かっているという状況でございます。

それから病児保育でございますが、利用延べ人数が348名ということで、利用実人数65名でございます。市民病院の医療スタッフの利用なんですけど、延べ人数にして78名、実人数で13名の方が利用をされておるということでありまして、これについても、病院の隣で見ていただけるというこ

とで、スタッフ安心して預けられるというところでございます。

職員の人的なところで余裕があるかどうかということでございます。年度途中から病児保育の看護師であるとか、あるいはパートの保育士さんを雇うことができましたので、今のところ人的には十分足りておるといふふうに思っております。

#### ○宇都宮委員

両病院ともなんですけど、リハビリに関しまして、西予市民病院で240万4000円の増、そして野村病院で487万7000円の増ということになっておりまして、リハビリに関しては、年々重要性が多分高くなっていったらと思うんです。そうやって考えるときに、今回もう次の予算が出てくるんですけども、予算を要求するときに、前年比プラス何%とか、そういうような考え方で予算を要求されるような方向性があるのかどうか、お伺いしたいと思います。

#### ○松末西予市民病院事務長

リハビリ医療の収益でございますが、1人のリハビリのスタッフでの収益というのが決まっております、1単位20分なんですけども、年度によって変わりますが、1人当たりの20分の単価が平成30年度では2,176円ということになります。年間の収益で、西予市民病院の場合なんですけども2714万3000円余りの収益となっております。収益も上がっておりますけれども当然人件費とか、その他の費用が発生しておりますので、その差額については一般会計から基準内の繰り入れをいただいております。増額するというよりもリハビリスタッフで収益を上げた差額を一般会計からいただくというような考えでございますので、こちらからむやみに上げることもできませんし、収益として決まったものがありますので、そういう流れになっております。

#### ○宇都宮委員

確認なんですけど、リハビリに関しましては、実績が上がったらその数に対して足りない分を一般会計から補填していただくということで、そこで運営していくという流れになっているということですね。

#### ○松末西予市民病院事務長

そのとおりでございます。

#### ○山岡医療介護部長

今の仕組みは、総務省が示す繰り出し基準の決

まりの中でそういった仕組みになっています。また全体的なところで申しますと、宇都宮委員言われましたように、リハビリの需要は非常に伸びてきております。

例えばどういうことかと申しますと、外科手術を行った場合に、通常土日を休みに入れてますと回復がおくれてしまいます。ですので、土日を行うように、365日リハビリ体制というのを野村病院は以前からとっております。来年度から市民病院についても、先ほど言いましたように手術件数も増えて、特に整形外科等精力的に行ってますので、そういったことでの動きに移行していくように人力的な採用をしておりますし、予算もそういった方向に進めていくところです。

加えまして、リハビリ職員もいろんな職種がございまして、言語聴覚士であったりとか、今市民病院言語聴覚士ありますけど、来年度野村病院も言語聴覚士を1名増員すると。また今チーム医療になってるので病棟においてもいろんな職種でカバーしていくという動きがございまして、特に、看護師不足という中で、少しでもそういう部分で負担軽減につながるような取り組みも進めておりますので、そういった意味で、今後もそういったリハビリの強化というのは、全体的には進めていく考えでおります。

#### ○源委員長

委員の皆様、一応きょうは、ご承知のように補正予算の審査でございます。3月9日の厚生常任委員会でも、来年度当初予算含めまして審査もございまして、時間長くなってともいうわけではありませんが、今回の補正予算に関して質疑がありましたら最後をお願いいたします。

暫時休憩を告げる。(休憩 午前9時32分)

#### ○源委員長

再開を告げる。(再開 午前9時35分)

以上で質疑を終結いたします。

これより採決を行います。

議案第37号「令和元年度西予市病院事業会計補正予算(第2号)」について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

#### ○源委員長

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

暫時休憩を告げる。(休憩 午前9時35分)

#### 【つくし苑】

#### ○源委員長

再開を告げる。(再開 午前9時37分)

続きまして、議案第38号「令和元年度西予市野村介護老人保健施設事業会計補正予算(第3号)」についてを議題といたします。

岩本事務長より説明を願います。

#### ○岩本つくし苑事務長

議案第38号「令和元年度西予市野村介護老人保健施設事業会計補正予算(第3号)」についてご説明を申し上げます。

今回の補正は、決算見込みによる収益的収入及び支出並びに資本的収入を補正するものであります。

補正予算書1ページをお開きください。

令和元年度の療養者数については、当初の3万7203人から1,015人少ない3万6188人を見込んでおります。

第3条の収益的収入及び支出の補正につきましては、施設事業収益を1580万5000円減額し、収入の総額を4億9645万6000円とし、施設事業費用を796万3000円減額し、支出の総額を5億5139万2000円とするものであります。

次に2ページをお開きください。

第4条の資本的収入の補正につきましては、資本的収入を26万円減額し、収入の総額を4728万6000円とするものであります。

第5条では、議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正として、職員給与費を816万4000円減額し、3億8195万1000円とするものであります。

第6条では、他会計からの補助金の補正で、(1)児童手当補助18万4000円の増額、(2)基礎年金拠出金補助41万8000円の増額、(3)企業債利息償還等補助631万7000円の減額、(5)その他補助12万円の減額となっています。

なお、第3条の収益的収支と第4条の資本的収支の補正につきましては、事項別明細書でご説明をいたします。

10ページをお開きください。

1款施設事業収益、1項施設運営事業収益、1目施設介護給付費収益につきましては、当初見込んでいた利用者数より少なかったため、1節介護給

付費収益を1000万円減額し、2節利用者負担金収益を250万円減額するものであります。

2項施設運営事業外収益、2目他会計補助金につきましては、総則5条で説明したとおりでございます。

6目長期前受金戻入につきましては233万8000円の増額となり、3項特別利益、2目過年度損益修正益については7万2000円の増額補正にしております。

次に11ページをお開きください。

1款施設事業費用、1項施設運営事業費用、1目給与費816万4000円の減額については、賃金等の不用額の減額であります。2目材料費80万円の減額については、医薬品と給食材料費の減額調整であります。6目資産消耗費については、介護報酬システムの除去に伴うもので、100万1000円の増額であります。

次に12ページをお開き願います。

1款資本的収入、2項補助金につきましては、介護報酬システムの更新が終わり、額が決定したため、1目他会計補助金12万円の減額、また、非常用発電機の購入が入札により補助金額が確定したことにより、2目国県補助金を14万円の減額するものであります。

以上、よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

#### ○源委員長

以上で説明は終わりました。

これより質疑を行います。質疑はありますか。

#### ○河野委員

この会計には直接関係ないかもしれないんですが、モンゴルからの実習生の受け入れという話があったと思うんですが、その後どういう状態になっているのか教えていただけたらと思います。

#### ○岩本つくし苑事務長

モンゴルの技能実習生については、モンゴルの出国手続きができておまして、現在のところ、令和2年6月ごろになる予定でございます。さらに、現在世界的に流行しております新型コロナウイルスの影響で、これ以上おくれる可能性があるということでございます。

つくし苑といたしましては、このおくれる期間を逆によい方向と考え、職員の介護技術の向上、そして職員の意識向上に努め、モンゴル人の技能

実習生が来られたときに、受け入れ準備が全て整うような体制で職員一丸となって進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

#### ○源委員長

ほかに質疑はありませんか。

#### ○酒井委員

実を言いましたら、65歳以上の中で介護を1から5まで受けておられる方が何人おるか、介護が900人から増えたり減ったりしとる報告があるんですけど、これは今でなくていいですから、また、当初予算のときに教えていただきたいと思えます。

といいますのは65歳以上の人たちの中で、以前の平成29年の答弁書を見てみますと、65歳以上の中で介護を受けてる方が2000何人になってますんで、それらを比較してどれぐらい増えてるかちょっと知りたいもんですから。当初予算のときにお願いしたいと思います。

#### ○源委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午前9時46分)

#### ○源委員長

再開を告げる。(再開 午前9時46分)

ほかに質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

#### ○源委員長

以上で質疑を終結といたします。

これより採決を行います。

議案第38号「令和元年度西予市野村介護老人保健施設事業会計補正予算(第3号)」について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

#### ○源委員長

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

暫時休憩を告げる。(休憩 午前9時47分)

#### 【生活福祉部】

#### 【市民課】

#### ○源委員長

再開を告げる。(再開 午前10時00分)

ただいまより生活福祉部及び福祉事務所分の審査を行いたいと思えます。

所管が変わりましたので、藤井生活福祉部長よ

り挨拶をちょうだいしたいと思います。

#### ○藤井生活福祉部長

藤井生活福祉部長が挨拶を行う。

#### ○源委員長

ただいまより市民課が所管されます議案について審査に入りたいと思います。

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」市民課所管分及び、議案第29号「令和元年度西予市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）」、議案第30号「令和元年度西予市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」、議案第31号「令和元年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）」については、4件とも関連がございますので一括議題といたします。

松本課長より説明を願います。

#### ○松本市民課長

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」の市民課所管分につきまして、補正予算に基づきご説明を申し上げます。

補正予算書の32ページをごらんください。歳入歳出補正予算事項別明細書でご説明をさせていただきます。歳出からご説明をいたします。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、補正額311万円のうち、市民課所管分は、28節繰出金、国民健康保険特別会計事業勘定繰出事業の605万円の増額補正でございます。この繰出事業につきましては、国民健康保険特別会計事業勘定でご説明をさせていただきます。

続きまして34ページをごらんください。

3款民生費、1項社会福祉費、5目国民年金事務費、補正額255万円の減額のうち、市民課所管分は、職員給与費を除く、補正額70万円の減額補正でございます。嘱託職員の退職及び非常勤職員の任用体系の変更に伴い、社会保険料及び臨時雇賃金の合計70万円を減額するものであります。

続きまして35ページをごらんください。

3款民生費、1項社会福祉費、7目人権対策費、補正額1017万9000円の減額補正でございます。当初予定していました、伊延改良住宅3棟6件の解体について、用途廃止の手続で県との協議の結果、耐用年数期間中の用途廃止審査は認められないこととなったため、工事請負費を減額するものであります。伊延改良住宅は、令和2年度末で耐用年数が経過するため、改めて、令和3年度の当

初予算に計上したいと考えております。

続きまして、9目後期高齢者医療費、後期高齢者医療特別会計繰出事業で926万2000円の減額補正でございます。この繰出事業につきましても、後期高齢者医療特別会計でご説明させていただきます。

続きまして38ページをごらんください。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、補正額142万5000円の減額のうち、市民課所管分は、28節繰出金、診療所勘定繰出事業の430万9000円の増額補正でございます。この繰出事業につきましても、国民健康保険特別会計診療施設勘定会計でご説明をさせていただきます。

続きまして歳入の12ページをごらんください。

13款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、補正額2126万6000円の減額のうち、市民課所管分は、1節社会福祉費国庫負担金の国民健康保険基盤安定事業費国庫負担金保険者支援分158万8000円の増額補正でございます。国庫負担金の確定によるものであります。

続きまして15ページをごらんください。

13款国庫支出金、3項委託金、2目民生費委託金、補正額63万円の減額補正であります。歳出で説明いたしました国民年金事務費の減額に伴う基礎年金事務費委託金を減額するものであります。

続きまして、14款県支出金、1項県負担金、2目民生費県負担金、補正額1041万5000円の減額のうち、市民課所管分は、1節社会福祉費県負担金、国民健康保険基盤安定事業費県負担金保険税軽減分215万4000円、同じく保険者支援分79万4000円の増額補正でございます。県負担金の確定によるものであります。次に、後期高齢者医療保険基盤安定事業費県負担金379万8000円の減額補正でございます。同じく県負担金の確定によるものであります。

続きまして19ページをごらんください。

17款繰入金、1項特別会計繰入金、3目住宅新築資金等貸付事業特別会計繰入金、補正額35万4000円の増額補正でございます。この繰入金につきましては、住宅新築資金等貸付事業特別会計でご説明させていただきます。

続きまして21ページをごらんください。

19款諸収入、5項雑入、4目雑入、補正額3314万4000円のうち、市民課所管分は3節民生費雑入の132万5000円の増額補正でございます。後期高齢



者被保険者のはり・きゅう・マッサージの助成事業に係る広域連合からの特別対策補助金の確定によるものでございます。

以上、議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」についてのご説明とさせていただきます。

続きまして、議案第29号「令和元年度西予市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）」につきまして、補正予算に基づきご説明を申し上げます。

補正予算書の7ページをごらんください。歳入歳出補正予算事項別明細書でご説明をさせていただきます。まず歳出からご説明をいたします。

3款諸支出金、2項繰出金、1目繰出金、補正額35万4000円の増額補正でございます。貸付金元利収入の増額に伴う一般会計繰り出しの調整によるものであります。

続きまして6ページの歳入をごらんください。

1款償還金、1項貸付金償還金、1目貸付金元利収入、補正額35万4000円の増額補正でございます。貸付金元利収入の増額によるものであります。内訳としまして、1節住宅改修資金貸付金元利収入が31万7000円の増、2節住宅新築資金等貸付金元利収入が3万7000円などとなっております。

以上で、議案第29号「令和元年度西予市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）」についてのご説明とさせていただきます。

続きまして、議案第30号「令和元年度西予市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」につきまして、補正予算書に基づきご説明申し上げます。

補正予算書の11ページをごらんください。歳入歳出補正予算事項別明細書でご説明させていただきます。歳出から補正金額の大きいものを抜粋してご説明いたします。

2款保険給付費、1項療養諸費、1目一般被保険者療養給付費、補正額1億4300万円の増額、2目退職被保険者等療養給付費、補正額1100万円の減額、3目一般被保険者療養費、補正額850万円の増額、合計1億4050万円の増額補正でございます。令和2年1月までの保険給付の実績に基づき、令和元年度の一般被保険者療養給付費及び退職被保険者等療養給付費、一般被保険者療養費の必要見込み額を算出し増額補正するものであります。

続きまして、2款保険給付費、2項高額療養費、1目一般被保険者高額療養費、補正額500万円の減額、2目退職被保険者等高額療養費、補正額150万円の減額、合計650万円の減額でございます。同じく令和2年1月までの保険給付費の実績に基づき、令和元年度の一般被保険者高額療養費及び退職被保険者等高額療養費の必要見込み額を算出し不用額を減額補正するものであります。

続きまして12ページをごらんください。

3款国民健康保険事業納付金、1項医療給付分、1目一般被保険者医療給付分、補正額はありますが財源の組み替えでございます。特定財源、一般会計繰入金ですが605万円の増額、一般財源605万円の減額でございます。

続きまして、5款保健事業費、2項特定健康診査等事業費、1目特定健康診査等事業費、補正額200万円の減額でございます。令和元年度健康診査の受診者の実績見込みによる減額補正をしますのであります。

続きまして13ページをごらんください。

6款基金積立金、1項基金積立金、1目財政調整基金積立金、補正額503万5000円の増額補正でございます。県国民健康保険事業特別会計は、国への償還金等が生じて厳しい財政状況が続いています。令和3年度以降は県の財源が不足することが見込まれ、市町に負担を求められることから、財政基盤の安定を図るため、基金に積み立てするものであります。

続きまして、7款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、3目償還金、補正額301万5000円の増額補正でございます。平成25年度分の療養給付費等負担金と平成26年度の調整交付金が超過交付となり返還する必要があるため、増額補正するものであります。

続きまして9ページの歳入をごらんください。

4款国庫支出金、2項国庫補助金、1目災害臨時特例補助金、補正額100万円の減額であります。国庫支出金から県支出金に変更となったためであります。

続きまして、5款県支出金、2項県補助金、4目保険給付費等交付金、補正額1億3513万6000円の増額補正であります。歳出の一般被保険者療養給付費に係る交付金の増額、へき地直営診療所運営費等補助金の増額、災害等に係る特別調整交付金の増額であります。

続きまして、7款繰入金、1項他会計繰入金、1目一般会計繰入金、補正額605万円の増額補正でございます。保険基盤安定繰入金の確定による増額であります。それに伴い歳出の特定財源の組み替えも行っております。

これで事業勘定補正予算についてのご説明とさせていただきます。

引き続きまして、診療施設勘定会計歳入歳出補正予算についてご説明をさせていただきます。

19ページをごらんください。歳入歳出補正予算事項別明細書でご説明をさせていただきます。歳出からご説明いたします。

1款総務費、1項施設管理費、1目一般管理費、補正額205万5000円の減額補正でございます。再任用職員の退職に伴い、2節給料、3節職員手当等、4節共済費を減額するものであります。

続きまして、2款医業費、1項医業費、1目医業費、補正額450万円の減額補正でございます。死亡などの人口減少、転院等で患者数が減少したため、医薬材料費等を減額するものであります。

続きまして17ページの歳入をごらんください。

1款診療収入、2項外来収入、目の合計で1100万円の減額補正でございます。医業費と同じ理由により、患者数が減少したため、診療収入を減額するものであります。

続きまして、4款繰入金、1項他会計繰入金、1目一般会計繰入金、補正額430万9000円の増額補正でございます。患者数の減少による診療収入の減額に伴う一般会計からの繰入金の増額でございます。

続きまして、4款繰入金、2項事業勘定繰入金、1目事業勘定繰入金、補正額13万6000円の増額補正でございます。土居診療所へのへき地直営診療所運営費等補助金の増額に伴う事業勘定からの繰入金でございます。

以上、議案第30号「令和元年度西予市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」についてのご説明とさせていただきます。

続きまして、議案第31号「令和元年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）」について、補正予算書に基づきご説明を申し上げます。

補正予算書の8ページをごらんください。歳入歳出補正予算事項別明細書でご説明させていただきます。歳出からご説明をいたします。

1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、補正額61万7000円の減額補正でございます。実績見込みにより郵便料を減額するものであります。

続きまして、1款総務費、2項徴収費、1目徴収費、補正額22万6000円の減額補正でございます。これも実績見込みによる郵便料を減額するものであります。

続きまして、2款後期高齢者医療広域連合納付金、1項後期高齢者医療広域連合納付金、1目後期高齢者医療広域連合納付金、補正額5万6000円の増額補正でございます。愛媛県後期高齢者医療広域連合へ納付する後期高齢者医療保険料徴収分の実績見込みによる827万3000円の増額、保険基盤安定負担金及び広域連合共通事務費の確定による821万7000円の減額、合計5万6000円を増額するものであります。

続きまして9ページをごらんください。

3款保健事業費、1目後期高齢者健康診査事業費、1目後期高齢者健康診査事業費、補正額118万円の減額補正でございます。令和元年度健康診査の受診者の実績見込みによる健康診査負担金等の減額によるものであります。

続きまして6ページの歳入をごらんください。

1款後期高齢者医療保険料、1項後期高齢者医療保険料、1目特別徴収保険料、補正額215万7000円の増額、2目普通徴収保険料、補正額611万5000円の増額、合計827万2000円の増額補正でございます。主な理由は、所得確定による区分等の変更により保険料が増額となったためであります。

続きまして、3款繰入金、1項一般会計繰入金、1目事務費繰入金、補正額419万9000円の減額、2目保険基盤安定繰入金、補正額506万3000円の減額、合計926万2000円の減額補正であります。広域連合共通経費、保険基盤安定負担金の確定による減額であります。

続きまして、5款諸収入、4項雑入、2目雑入、補正額9万円の減額補正でございます。医療費適正化等推進事業費補助金の確定による減額であります。

続きまして7ページをごらんください。

5款諸収入、5項受託事業収入、1目後期高齢者医療広域連合受託事業収入、補正額88万7000円の減額補正でございます。健康診査受診者の実績見込みによる受託事業収入の減額であります。

以上で、議案第31号「令和元年度西予市後期高

齢者医療特別会計補正予算（第4号）」についてのご説明とさせていただきます。

以上4議案、よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

#### ○源委員長

以上で説明は終わりました。

これより本議案4件について一括質疑を行います。質疑はありませんか。

#### ○加藤副委員長

議案第31号ですけれども、6ページ、後期高齢者医療保険料のところなんですけれども、普通徴収保険料、特別徴収保険料が、合計で827万円ほど増額されておりますが、後期高齢者というのが3割負担の方もいらっしゃると思うんですが、一般の方と一緒に増えてるってことですか。そういう解釈でいいですか。

#### ○源委員長

暫時休憩を告げる。（休憩 午前10時23分）

#### ○源委員長

再開を告げる。（再開 午前10時25分）

#### ○松本市民課長

保険料の増額なんですけど、所得の確定なり、今まで軽減があった人が外れたりということで、若干所得の増えた形により増額となっております。

#### ○源委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

#### ○源委員長

以上で質疑を終結といたします。

それでは議案ごとに採決を行います。

まず議案第28号を採決いたします。

お諮りいたします。

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」市民課所管分について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

#### ○源委員長

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

次に、議案第29号「令和元年度西予市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）」について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

#### ○源委員長

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

続きまして、議案第30号「令和元年度西予市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

#### ○源委員長

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

次に、議案第31号「令和元年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）」について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

#### ○源委員長

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

暫時休憩を告げる。（休憩 午前10時27分）

#### 【環境衛生課】

#### ○源委員長

再開を告げる。（再開 午前10時30分）

続きまして、議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」環境衛生課所管分の審査を行います。

佐々木課長より説明を願います。

#### ○佐々木環境衛生課長

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」環境衛生課所管分について、ご説明をさせていただきます。

まず歳出について説明をいたします。予算書39ページをお開きください。

4款衛生費、1項保健衛生費、4目環境衛生費の8450万8000円を1066万9000円減額し7383万9000円とするものです。そのうち当課所管分につきましては、田園ロマンの里づくり推進事業で70万7000円、職員給与費（環境衛生費）440万円を減額するものです。内訳としましては、田園ロマンの里づくり推進事業ですが、当初石城小学校が、山口県の周南市八代小学校へ訪問して交流をする計画でございましたが、総務省の都市農山漁村の地域連携による子ども農山漁村交流推進モデル事業の採択を受けたことによりまして、八代小学校

が石城小学校を訪問したことによりまして、それに伴う減でございます。9節旅費について費用弁償を30万円、11節需用費の食糧費を16万円減額しております。また、ツルのねぐらとなるため池用のポンプ施設電気代負担金を計上しておりましたが、施設を使用しなかったことによりまして、19節負担金補助及び交付金において24万7000円を減額しております。

職員給与費は、人件費の実績見込みによりまして440万円減額するものでございまして、2節の給料150万円、3節の職員手当等260万円、4節共済費30万円をそれぞれ減額しております。

予算書40ページをお開きください。

続いて、4款衛生費、2項清掃費、3目し尿処理費の1億4165万1000円を1115万円減額し、1億3050万1000円とするものです。内訳としましては、西予市衛生センター管理運営事業において、1115万円を減額するもので、経費節減や実績見込みによりそれぞれ不用額を減額しております。主なものとしましては、消耗品費で薬品等の購入費用に係るものでございます。

次に歳入についてご説明をいたします。予算書は戻りまして19ページをお開きください。

17款繰入金、2項基金繰入金、27目田園ロマンの里づくり基金繰入金の146万2000円を24万7000円減額し121万5000円とするものです。この繰入金の減額につきましては、先ほど歳出でご説明しました田園ロマンの里づくり推進事業におけるポンプ施設電気代の負担金の減額に伴うものでございます。

以上、説明とさせていただきます。よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

#### ○源委員長

以上で説明は終わりました。

これより質疑を行います。質疑はありませんか。

#### ○宇都宮委員

40ページで、消耗品費が670万円減になったということで、メインは薬品の購入費が減ったという説明だったんですけども、イメージ的にわかりにくいので、できればもう少し具体的に説明いただけたらと思います。

#### ○佐々木環境衛生課長

薬品でございますが、し尿処理に係るとこ

ろでいろいろな薬品を使います。メタノール、次亜塩酸、水酸化ナトリウム、硫酸バンド、凝集剤、活性炭、それぞれの処理工程の中でそういった薬品を使って処理をしております。当初前年度の見込みで予算を計上しております。実際に尿の入ってきた処理をしていって、あと不用額として、この程度薬品があればもう大丈夫というところで概算をはじいて、不用額を減額ということで計上をしております。

#### ○源委員長

ほかに質疑はありませんか。

#### ○宇都宮委員

薬品の使用量が減ったということですけども、実績に基づいてということですので、し尿の流入量というか、量が減ったというような解釈で構わないでしょうか。

#### ○佐々木環境衛生課長

当初前年程度の見積もりでし尿の受け入れ量を計算して、これだけ必要ということで、当然足りなくなるということにはなりませんので、前年程度で計画しておりまして、実際のところ処理量としては下がってきております。その関係で13節委託料のところが減額しておりますが、その処理をした後のし尿の処分、助燃材、沈砂というのは最後まで残ったものを処理するんですが、その分の委託料等を減額しているという状況でございます。

#### ○源委員長

ほかに質疑はありませんか。

#### ○酒井委員

今の聞き方なんですけど、私は、当初予算のあり方がおかしいなと思ったんですけど、要するに前年度に合わせてあげるとということなんで、ことはそしたら1億3000万円を上げるということになりますね。確認しよったけどよう探さんもんですから。予算のあり方というのは、前年度と、それは簡単で一番いいと思うんですけども、やはりことはこれだけ合理化するからこうだよというような企業的センスで予算は上げて、その中で努力したり、そしてまた必要が急に出てきたら補正予算に追加であげてくるとか、こういうやり方をやって、きめ細かい予算のあげ方、執行を計画してください。お願いします。

#### ○佐々木環境衛生課長

おっしゃるとおりでございまして、極力不用額が出ないように計画を立てて処理をしている状況

でございますが、年度をまたぐ関係でどうしても3月に支出が出たりとか、逆に出なかったりというケースもございますので、またその辺は計画をきっちり立てて対応したいと思います。

**○源委員長**

ほかに質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

**○源委員長**

以上で質疑を終結といたします。

これより採決を行います。

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算(第8号)」環境衛生課所管分について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

**○源委員長**

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

暫時休憩を告げる。(休憩 午前10時40分)

**【健康づくり推進課】**

**○源委員長**

再開を告げる。(再開 午前10時43分)

次に、議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算(第8号)」健康づくり推進課所管分についてを議題といたします。

沖村課長より説明を願います。

**○沖村健康づくり推進課長**

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算(第8号)」健康づくり推進課所管分の補正予算につきまして、予算書に基づきご説明申し上げます。

初めに歳出についてご説明申し上げます。予算書38ページをお開き願います。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費につきましては142万5000円を減額補正しております。職員給与費の減額についての説明は省かせていただきます。このうち、保健衛生庶務事業247万円の減額は、本課の産休・育児休暇取得保健師の代替保健師の確保ができなかったことにより生じた不用額で、内訳は、社会保険料及び嘱託職員賃金等の人件費であります。

次に、明浜健康管理センター管理運営事業の19万2000円の減額は、同センターを利用しておりました明浜救急出張所の新支所移転などで、施設

利用が減少したことにより生じた電気代等、需用費の不用額です。

次に、旧国保診療所等維持管理事業の20万2000円の減額補正ですが、これは、明浜地区旧国保診療所の暖房機器切りかえ等で生じた燃料費や電気料の需用費に不用額が生じたため減額するものです。

次に、2目予防費につきましては2280万円を減額補正しております。このうち、予防接種事業の1359万4000円の減額は、予防接種者数及び、今年度から実施の緊急風しん対策抗体検査受診者が見込み数より少なかったため、年度末までの執行見込みにより不用額となる医薬材料費100万円及び、予防接種委託料1259万4000円を減額補正するものであります。

次に、がん検診等事業917万6000円の減額は、がん検診受診者数が見込み数より少なかったため、昨年度までの執行見込み額により、不要と思われる受診者への検診委託料900万円を減額するものです。また、国庫補助事業である新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を市単独事業に切りかえたことから、不要となった検診委託料等17万6000円を減額するものであります。なお、保健活動研修事業の3万円の減額は、保健師、栄養士等専門職員の研修会講師謝金が不要になったためでございます。

次に39ページをお開き願います。

5目精神衛生費につきましては18万3000円を減額補正いたしました。これは、精神保健事業の自殺対策計画策定において、西予市自殺対策推進協議会委員の欠席等で不用となった報償金の減額、また、心の健康教育講師を市内の講師で対応したことによる講師謝金の減額、心の健康調査の目標回収率の見込み減による郵券料等の不用額を減額補正するものであります。

同じく39ページから40ページにまたぎますが、6目母子衛生費につきましては214万6000円を減額補正いたしましたが、これは、妊婦健診事業において、当初の見込みより妊娠届け出数が少なかったことから、これから年度末までの妊婦検診並びに、妊婦歯科検診受診者数を見込んで、不要となる妊婦検診委託料を減額するものであります。

次に歳入についてご説明いたします。予算書13ページをお開き願います。

13款国庫支出金、1項国庫負担金、2目衛生費国

庫負担金、1節保健衛生費国庫負担金8万8000円の減額は、先ほどのがん検診事業等における国庫補助事業を市単独事業として対応したため、その歳入分の感染症予防事業費等国庫負担金を減額したものでございます。

同じく13ページの13款国庫支出金、国庫補助金、衛生費国庫補助金、1節保健衛生費国庫補助金740万2000円の減額補正のうち、感染症予防事業費等国庫補助金が、本課所管分となりますが、先ほど説明いたしました予防接種事業の歳出額を減額したことにより、今年度歳入を予定していた国庫補助金のうち391万8000円を減額するものであります。内訳は、風しん対策抗体検査事業に係るシステム改修費補助金21万6000円の減額と抗体検査に係る補助金370万2000円の減額であります。

なお、この風しん対策抗体検査事業にかかるシステム改修費の歳出につきましては、まちづくり推進課が所管となりますが、25ページをお開きください。2款総務費、1項総務管理費、8目電算管理費、13節委託料で、システム改修委託料減額分が、241万6000円の中に、本事業の減額分43万2000円が含まれております。これは、システム改修が補修費用内で対応できたための不用額となっております。

以上、一般会計補正予算（第8号）の健康づくり推進課所管分の説明を終わります。よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願いいたします。

#### ○源委員長

以上で説明は終わりました。

これより質疑を行います。質疑はありませんか。

#### ○二宮委員

今も説明ありましたけども、38ページの風しん予防接種の減額の件ですけれども、風しんの予防接種が思ったより少なかったというふうな説明だったと思うんですけども、広報の仕方の状況と、何人予想されて何人だったのかという結果もしわかれば教えていただきたいのと、それを来年度予算にはどういうふうにするのかということ質問したいと思います。

#### ○源委員長

暫時休憩を告げる。（休憩 午前10時53分）

#### ○源委員長

再開を告げる。（再開 午前10時55分）

#### ○沖村健康づくり推進課長

先ほどの風しん事業の現状について報告をいたします。今年度非常に受診率が悪いということでございますけれども、今年度は、昭和47年から54年生まれの男性1,554人が対象となっております。その内、抗体検査受診をされた方が295人、受診率にして19%、そのうち抗体がなく、そこで受診をされた方が122人、これが41%となっております。その結果、接種をされた人が63人ということで52%という結果になっています。これは昨年11月末の現在の実績でございます。

#### ○源委員長

暫時休憩を告げる。（休憩 午前10時57分）

#### ○源委員長

再開を告げる。（再開 午前10時57分）

#### ○沖村健康づくり推進課長

昨年10月末は愛媛県が30%、国が20%という状況ですので、国には近いけれども、まだ受診率は低いという状況であります。そのことでどういう周知の仕方をしたかということでございますが、もちろん対象者には文書で受診の案内をし、広報等でも該当者に対して周知をしております。また、ホームページ等を通じて案内等もしておりますけれども、現在のところ、このような状況に至っております。来年度については、対象者のおよそ半分くらいの見込みで進めているところですが、今後ともこの周知方法については、十分検討し、受診率が上がるように努力をしてみたいと考えております。

#### ○源委員長

暫時休憩を告げる。（休憩 午前10時59分）

#### ○源委員長

再開を告げる。（再開 午前11時00分）

#### ○二宮委員

今の説明でわかったんですけども、せっかくの国の制度なんで、1人でも多くの人を受けていただけるように、今後いろいろな手段で広報していただけるように努力をお願いしたいと思いません。

#### ○源委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

#### ○源委員長

以上で質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」健康づくり推進課所管分について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

#### ○源委員長

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

暫時休憩を告げる。（休憩 午前11時01分）

#### 【福祉事務所】

#### 【福祉課】

#### ○源委員長

再開を告げる。（再開 午前11時16分）

続きまして、議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」福祉課所管分についてを議題といたします。

長野課長より説明をお願いします。

#### ○長野福祉課長

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」福祉課所管分につきまして、補正予算書に基づいてご説明申し上げます。

まず歳出からご説明させていただきます。予算書の32ページをお開きください。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費の福祉課所管分についてご説明いたします。

事業概要の社会福祉庶務事業28万円の減額補正でございますが、育児休暇職員の代替職員として雇用しております臨時職員の賃金及び社会保険料を支出見込みに応じて減額したものでございます。また、公用車管理事業の6万円の減額補正は、明浜支所生活福祉課で所有する公用車が昨年6月に1台廃車となりましたことにより、燃料費が減額となったことによるものです。福祉課所管分につきましては34万円の減額補正となります。

続きまして予算書33ページ下段をごらんください。

3款民生費、1項社会福祉費、4目障害者福祉費983万円の減額補正についてご説明いたします。

まず、事業概要の地域生活支援事業53万2000円の減額補正でございますが、給付見込み額が現予算額に対して下回ると予想されるため、その不用額を減額するものです。主な要因といたしましては、成年後見制度利用支援事業や身体障害者自動

車改造助成費補助金等の利用がなかったことによるものでございます。

次に、障害者総合支援給付事業823万7000円の増額でございますが、増額した主な要因といたしましては、県の実地指導において、請求内容の不備を指摘された事業所から過去5年間にさかのぼって過去請求されたことにより、支給見込み額が当初見込み額を上回ったため増額するものでございます。

次に、特別障害者手当給付事業316万5000円の減額でございますが、当初見込みより新規申請者が少なく喪失者が多かったため、支給実績見込み額が下回るためでございます。

次に、障害者自立支援医療費給付事業1638万円の減額でございますが、生活保護受給者の更生医療給付費が減になったことと、育成医療の対象者が減ったために、当初見込みより実績額が下回る見込みであるため、減額とするものでございます。

次に、障がい者福祉庶務事業501万5000円の増額補正でございますが、平成30年度の事業実績により、今年度において国庫負担金の額の確定を受け負担金を返還するものでございます。返還する事業は、障害者自立支援給付費国庫負担金259万1000円、障害者医療費国庫負担金306万円でございます。また、委員報酬及び臨時職員の賃金及び社会保険料については、実績見込みにより63万6000円を減額補正しており、合計で501万5000円の増額補正となっております。

次に、軽度・中等度難聴児補聴器給付事業20万2000円の減額補正でございますが、今年度は、これまでに申請者がなかったことから減額するものでございます。

次に、障がい者団体助成事業57万2000円の減額補正でございますが、主な要因といたしましては、西予市精神障がい者家族会が、平成31年度総会において活動の休止を決定され、補助金の請求をなされなかったことから減額となったものでございます。

次に、障害児通所支援給付等事業308万円の増額補正でございますが、これまで西予市内に1カ所しかなかった障害児通所支援事業所が2カ所に増えたことにより、同じ利用者が、事業内容や利用日等によって2カ所の事業所を利用されるようになり利用日数が増えたため、給付額が増額した

ものによるものでございます。

次に、西予市障がい者（児）タクシー利用助成事業336万1000円の減額でございますが、この事業は、平成31年1月に事業化し取り組んでおる事業で、開始間もない事業ということもあり、平成31年度当初は、利用者数をなかなか把握することが難しく、対象となる障害者手帳保持者のおよそ半分と見込んでおりました。しかし実際は申請者がそれを大幅に下回ったために減額するものでございます。

次に36ページ下段をごらんください。

3款民生費、3項生活保護費、1目生活保護総務費1189万6000円の増額補正についてご説明いたします。

まず、事業概要の生活保護施行事業1323万8000円を増額するものでございますが、平成30年度実績の確定に伴い、超過交付分を国へ返還するものでございます。

次に、生活困窮者世帯の子どもに対する学習支援事業54万2000円の減額補正でございますが、予定しておりましたお子さんが家庭の事情等で学習支援を行うことが困難となったために事業を実施することができなくなり減額するものでございます。

歳出の最後となりますが37ページ下段をごらんください。

3款民生費、4項災害救助費、1目災害救助費139万7000円の減額補正のご説明をいたします。

事業概要の災害救助費（福祉課）分389万7000円の減額補正でございますが、応急修理の今年度対応分を10件と予定しておりましたが、3件の申請にとどまり、昨年12月27日に受け付けを終了いたしましたので、実績により減額するものでございます。

次に、災害援護資金貸付事業250万円の増額補正でございますが、平成30年7月豪雨災害により被災されました方へ災害援護資金を貸し付けしたところ、今年度において1名の方から繰上償還がございました。市も県に対して償還する必要があるため増額補正となるものでございます。

歳出につきましては以上でございます。

それでは続いて、歳入予算についてご説明申し上げます。12ページ下段をごらんください。

13款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、補正額2126万6000円の減額補正のう

ち、福祉課所管分は362万8000円の減額補正でございます。

1節社会福祉費国庫負担金のうち、説明の欄をごらんください。障害者自立支援給付費国庫負担金、障害者医療費国庫負担金、特別障害者手当等給付費国庫負担金、障害児入所給付費等国庫負担金及び障害児入所医療費等国庫負担金、障害児入所給付費等国庫負担金（過年度分）でございます。また13ページになりますが、3節生活保護費国庫負担金は63万7000円の増額補正でございます。それぞれの事業において、実績見込みにより、歳出の増額、減額を行うことにより、国庫負担金がございますので、歳入の増減額補正を行うものでございます。また、過年度分と記載があるものにつきましては、平成30年度の実績が確定したことに伴い、国の負担分の不足分を精算交付されますので、それを受け入れるものでございます。

続きまして13ページ下段をごらんください。

13款国庫支出金、2項国庫補助金、1目民生費国庫補助金17万8000円の増額補正でございますが、福祉課所管分は35万5000円の減額補正となります。

説明欄にございます地域生活支援事業費国庫補助金8万4000円の減額、生活困窮者就労準備支援事業費等国庫補助金27万1000円の減額補正となります。こちらも実績見込みにより、歳出額の減額から国庫補助金も減額補正となるものでございます。

次に15ページをお開きください。

14款県支出金、1項県負担金、2目民生費県負担金1041万5000円の減額補正のうち、福祉課所管分は516万4000円の減額補正となります。

1節社会福祉費県負担金のうち、自立支援医療（育成医療）費県負担金、障害者自立支援給付費県負担金、障害者医療費県負担金、障害児通所給付費等負担金及び肢体不自由児通所医療費等県負担金が福祉課所管分となり、合計で126万7000円の減額。また、7節災害救助費繰替支弁金交付金が389万7000円の減額補正でございます。いずれも実績見込みによる歳出額の減額により、県負担金額を減額するものでございます。

次に16ページをお開きください。

14款県支出金、2項県補助金、2目民生費県補助金21万9000円の増額補正のうち、福祉課所管分は



14万2000円の減額補正でございます。

内容といたしましては、地域生活支援事業費県補助金4万2000円の減額、軽度・中等度難聴児補聴器購入助成費県補助金10万円の減額補正でございます。それぞれ実績見込みによる歳出額の減額により、県補助金を減額するものでございます。

次に20ページ中段をごらんください。

19款諸収入、3項貸付金元利収入、1目貸付金元利収入250万円の増額補正でございます。平成30年7月豪雨災害の際に、災害援護資金貸し付けを行っていましたが、償還の申し出がありましたので増額補正するものでございます。

以上、一般会計補正予算（第8号）の福祉課所管分の説明を終わります。よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

#### ○源委員長

以上で説明は終わりました。

ただいまより質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

#### ○源委員長

以上で質疑を終結といたします。

お諮りいたします。

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」福祉課所管分について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

#### ○源委員長

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

暫時休憩を告げる。（休憩 午前11時22分）

#### 【長寿介護課】

#### ○源委員長

再開を告げる。（再開 午前11時25分）

続きまして、議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」長寿介護課所管分並びに、議案第32号「令和元年度西予市介護保険特別会計補正予算（第4号）」について、関連がございますので一括議題としたいと思います。

宇都宮課長より説明をお願いいたします。

#### ○宇都宮長寿介護課長

初めに、議案第28号「令和元年度一般会計補正予算（第8号）」長寿介護課所管分につきまし

て、補正予算書に基づいてご説明を申し上げます。

歳出予算からご説明いたします。予算書33ページをお開きください。

3款民生費、1項社会福祉費、3目老人福祉費、13節委託料、緊急通報事業委託料52万2000円を減額計上しております。これは、現在緊急通報装置を利用されている方が107名おられます。その実績見込みにより不用額を減額するものでございます。

次に、19節負担金補助及び交付金の補助金でございますが、はり・きゅう・マッサージ補助金62万1000円、被災者タクシー利用補助金124万8000円、老人クラブ補助金42万4000円を今年度の実績見込みにより不用額を減額するものでございます。

続きまして、20節扶助費75万2000円を減額計上しております。これは、敬老祝金支給事業につきまして、今年度対象となる88歳の方が439名、99歳の方が36名おられましたので、実績により不用額41万円を減額及び、在宅ねたきり老人等介護手当支給事業につきましても、今年度の支給額を244万円と見込んでおりますので、不用となる34万2000円を減額するものでございます。

続きまして、28節繰入金136万3000円を増額計上しております。これは介護保険事業の実績見込みにより不用額を一般会計から特別会計へ繰り出すものですが、詳細につきましては、介護保険特別会計補正予算の折にご説明させていただきます。

以上、歳出予算のご説明とさせていただきます。

続きまして歳入予算のご説明を申し上げます。予算書12ページをお開きください。

13款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、1節社会福祉費国庫負担金、低所得者保険料軽減国庫負担金18万4000円を増額計上しております。これは、介護保険料の所得段階、第1段階から第3段階の介護保険料軽減分を負担割合に応じて増額するものでございます。

次に15ページをごらんください。

14款県支出金、1項県負担金、2目民生費県負担金、1節社会福祉費県負担金、低所得者保険料軽減県負担金9万2000円を増額計上しております。国庫負担金と同様に負担割合に応じて増額計上し

ております。

続きまして予算書16ページをごらんください。

14款県支出金、2項県補助金、2目民生費県補助金、1節社会福祉費県補助金17万2000円を減額計上しております。これは、今年度の老人クラブ数と会員数の実績に基づいて県補助金を減額するものでございます。

以上で、議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」長寿介護課所管分のご説明とさせていただきます。

続きまして、議案第32号「令和元年度西予市介護保険特別会計補正予算（第4号）」につきまして、補正予算書に基づいてご説明を申し上げます。

歳出予算からご説明いたします。予算書9ページをお開きください。

1款総務費の減額予算計上は、本年度の事業実績見込みにより減額するものでございます。その内容は、1項総務管理費、1目一般管理費、8節報償費、報償金15万3000円、12節役務費、通信運搬費の郵便料15万円、2項賦課徴収費、1目徴収費、12節役務費、通信運搬費の郵便料10万円、3項介護認定審査会費、2目認定調査等費、12節役務費、通信運搬費の郵便料10万円を減額しまして、特定財源の繰入金、一般会計事務費繰入金につきましても、減額予算と同額を減額するものでございます。

続きまして予算書10ページをごらんください。

2款保険給付費、1項介護サービス等諸費、1目介護サービス給付費、19節負担金補助及び交付金、介護サービス給付費負担金1400万円を増額計上しております。これにつきましては、実績見込みにより給付費を増額するものでございます。財源につきましては、事業実績見込みにより、それぞれの負担割合に応じて財源を組み替えております。

続きまして、3款地域支援事業費、3項一般介護予防事業費、1目一般介護予防事業、8節報償費、講師謝金40万円、13節委託料、介護予防普及啓発事業委託料120万円、地域リハビリテーション活動支援事業委託料40万円を減額計上しております。この事業につきましても、各事業の実績見込みにより減額するものでございます。また事業の財源につきましても、それぞれの負担割合に応じて組み替えております。

続きまして、歳入予算をご説明いたします。予算書6ページをお開きください。

1款保険料、1項介護保険料でございますが、実績見込みにより、特別徴収保険料600万円の減額と普通徴収保険料430万円の増額による170万円を減額するものでございます。

次に、4款国庫支出金、1項国庫負担金、1目介護給付費負担金1969万5000円を減額計上しております。これは、介護給付費負担金交付決定通知を受け減額するものでございます。

次に、4款国庫支出金、2項国庫補助金につきましては2392万7000円を増額計上しております。1目調整交付金につきましては、普通調整交付金1499万9000円及び特別調整交付金942万8000円の増額で2442万7000円の増額、3目地域支援事業交付金につきましては、一般介護予防事業費の実績見込みにより200万円減額することから、事業費の国負担25%に当たります50万円を減額するものでございます。

次に7ページをごらんください。

5款県支出金、1項県負担金、1目介護給付費負担金175万円を増額計上しておりますが、これは実績見込みにより増額する給付費1400万円に係る県負担分12.5%相当分になります。

次に、5款県支出金、2項県補助金、1目地域支援事業交付金25万円を減額計上しております。一般介護予防事業費の実績見込みにより、200万円の減額に係る県負担12.5%に当たる25万円を減額するものでございます。

続きまして、6款支払基金交付金、1項支払基金交付金につきましては989万4000円を減額計上しております。1目介護給付費交付金、事業実績による935万4000円の減額と、2目地域支援事業支援交付金、一般介護予防事業費の実績見込みによる200万円の減額に係る支払基金負担27%に当たる54万円を減額するものでございます。

8款繰入金、1項一般会計繰入金につきましては、7ページから8ページになりますが、136万3000円を増額計上しております。これにつきましては、1目介護給付費繰入金175万円の増額、2目その他一般会計繰入金50万3000円の減額、3目低所得者保険料軽減繰入金36万6000円の増額、4目地域支援事業繰入金25万円の減額となっております。それぞれ本年度の事業実績見込みに伴うものでございます。

続きまして、8款繰入金、2項基金繰入金、1目介護給付費準備基金繰入金1599万6000円を増額計上しております。これにつきましては、介護保険特別会計におきまして、歳入予算が不足となります1599万6000円を基金から繰り入れるものでございます。

以上で、議案第32号「西予市介護保険特別会計補正予算（第4号）」についてのご説明とさせていただきます。

以上2議案、よろしくご審議の上、ご決定くださいますようよろしくお願いいたします。

#### ○源委員長

説明は以上となります。

これより質疑を行います。質疑はありませんか。

#### ○酒井委員

老人クラブの少なくなってる原因はどういうようにとらえておりますか。

#### ○宇都宮長寿介護課長

おっしゃるとおり老人クラブ数、会員数ともに年々減少しております。現在の老人クラブ活動が、今後魅力あるものになっていくともっと会員数が増えると思っておりますが、役員等の方々にお聞きしますと、やはり自分の趣味を持っている方々が多いように思われます。

#### ○酒井委員

趣味をつくるために、みずからがつくる形と行政が呼び水をつける、もう人口の43%になろうとしております、地区によっては55%を過ぎてる、人口の5割超えてるところに対して、何ら今回の市長の市政の重点施策の中にも、老人社会に関して、こういうものが一つもうたってないんで、こういう質問をしました。

私最近、老人の最たるものでございますので、非常に風が吹けば寂しくなるし、1人で飯食うと寂しくなる。炊事・洗濯全部しなきゃだめ、そういう人たちが何かを求めるためには、心のそういう呼び水を行政側がつくるべきだと思います。そういうものを老人クラブにしても積極的に会員勧誘とか、そういうことに関して行政側がして、43%にかかわる人たちのそういう手助けを行政は知らないよという形ではない。人口の半分おる中で、そこにターゲットを当てるような施策を今後望みます。

これはまた、きょうの委員会で、どうして老人

クラブに入らないかという形が、趣味だとかそういうことは個々に分析すればわかると思いますけれども、そのあたりをしっかりと、介護保険とかそういうことばかりやってるわけじゃなしに、やっぱり生きがいをつくって、そして、もうその人たちが西予市で生きてよかったなど、西予市で死んでよかったなど、終活してよかったなどというようなものをこしらえていていただきたいと思っております。

#### ○源委員長

以上につきましては、来週の酒井議員の一般質問において答弁が市長からあると思っておりますので、きちんと通告したことは質問するよう酒井議員にお願いを申し上げたいと思っております。

暫時休憩を告げる。（休憩 午前11時40分）

#### ○源委員長

再開を告げる。（再開 午前11時41分）

#### ○源委員長

以上で質疑を終結といたします。

議案ごとに採決を行います。

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」長寿介護課所管分について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

#### ○源委員長

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

続きまして、議案第32号「令和元年度西予市介護保険特別会計補正予算（第4号）」について、原案に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

#### ○源委員長

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

暫時休憩を告げる。（休憩 午前11時42分）

#### 【子育て支援課】

#### ○源委員長

再開を告げる。（再開 午前11時46分）

次に、議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」子育て支援課所管分についてを議題といたします。

松田課長より説明をお願いします。

## ○松田子育て支援課長

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」の子育て支援課所管分につきまして、補正予算書に基づきご説明を申し上げます。

歳出予算からご説明申し上げます。予算書35ページ下段をごらんください。

3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費1282万8000円の減額補正でございます。この内容につきまして事業概要をごらんください。放課後児童健全育成事業は、次年度の入所状況につきまして、宇和地区において27名の待機児童が発生する見込みとなっております。そこで、宇和地区における待機児童対策として、新規クラブの立ち上げを計画し、その開設準備経費として、子ども・子育て支援交付金交付要綱に基づき、開設前の環境整備事業補助金を160万円増額するものがございます。

歳入につきまして、13ページ下段のとおり、13款国庫支出金、2項国庫補助金、1目民生費国庫補助金及び、16ページ、14款県支出金、2項県補助金、2目民生費県補助金として、国・県がおの3分の1補助の53万3000円の増額補正でございます。

続きまして35ページにお帰りください。

事業概要2行目、障がい児保育事業につきましては、民間保育所に入所する心身に障がいを有する児童の健全育成に必要な加配保育士を配置するための人件費を補助しております。実績によりまして89万円の減額補正でございます。

続きまして、事業概要3行目の児童扶養手当支給事業につきまして、人口減少に伴う受給者数の減少傾向とあわせて、支給回数、支給月の変更見込み等が当初見込みより下がったため、扶助費の不用額として1220万円を減額するものであります。

歳入につきまして、13ページ上段、13款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金として、3分の1補助406万7000円を減額するものがございます。

続きまして35ページ、事業概要4段目、子ども・子育て会議運営事業につきまして、令和元年度におきまして、就学前児童及び小学校児童の保護者を対象に実施したニーズ調査をもとに、子ども・子育て会議を3回、実務者会議を2回実施し、第2期西予市子ども・子育て支援事業計画を

策定予定であります。その策定に係る策定業務委託料の執行残133万8000円を減額するものでございます。計画の概要につきましては、午後からの行政報告において報告させていただきます。

続きまして、3款民生費、2項児童福祉費、2目児童措置費2441万4000円の減額補正でございます。事業概要、児童手当支給事業につきまして、当初見込んでいました支給延べ児童数が出生数等の減により、実績見込みが減数となり1685万1000円を減額するものがございます。

歳入につきましては、13ページ上段の国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金1172万5000円の減額及び、15ページ下段、14款県支出金、1項県負担金、2目民生費負担金268万4000円を減額するものがございます。

続きまして36ページをごらんください。

事業概要1段目、教育・保育給付費支給事業につきまして、当初見込みに対しまして実績見込みの減によりまして、スマイル保育園の広域委託料45万円の減額と同じくスマイル保育園の地域型給付費512万9000円、合わせて557万9000円の減額補正でございます。

歳入につきましては、13ページ上段、13款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、子どものための教育保育給付費国庫負担金2分の1補助262万6000円及び、15ページ下段、14款県支出金、1項県負担金、2目民生費県負担金、子どものための教育保育給付費県負担金4分の1補助131万3000円の減額でございます。

36ページにお帰りください。

事業概要2段目、幼児教育・保育無償化事業につきまして、制度開始前に各施設に行ったヒアリングに基づいた利用見込みに対して、実績利用者の延べ数の減数により、子育てのための施設等利用負担金198万4000円を減額するものです。

歳入につきましては13ページ上段、13款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、国2分の1補助の金額99万2000円の減額及び、15ページ下段、14款県支出金、1項県負担金、2目民生費県負担金、県4分の1補助の金額49万6000円の減額補正でございます。

36ページにお帰りください。

3款民生費、2項児童福祉費、4目保育所費1942万円の減額補正でございます。事業概要、スマイル保育園管理運営事業につきまして、人件費

等の減額による総事業費の減額見込みにより、繰出金1667万円の減額補正でございます。

最後に予算書58ページをごらんください。

11款災害復旧費、5項社会福祉施設災害復旧費、2目社会福祉施設災害復旧費につきましては、次年度の補助となることから、財源を一般財源に組み替えて計上しているものでございます。

以上、令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）子育て支援課所管分の説明とさせていただきます。よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願いいたします。

#### ○源委員長

以上で説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑はありませんか。

#### ○酒井委員

待機児童があるんですけども、待機している人たちの職業の内訳はわかりますか。個人情報になるんで、これはちょっと問題があるかもしれませんけれども。これからも宇和町は待機児童が生まれる様子ですから、来年度につきましてもお尋ねしておきます。

#### ○松田子育て支援課長

職業については手元に資料がございません。それと個人情報もありますので。

待機児童につきましては、来年度の希望数を取りましたときにも発生する予定になっております。その特徴としましては宇和地区におきまして、現在の見込みといたしましては、宇和地区で27名の児童が待機の予定になっております。あと三瓶地区におきまして9名の待機が出る予定になっております。それで新規事業の立ち上げを検討しております。

#### ○源委員長

暫時休憩を告げる。（休憩 午前11時58分）

#### ○源委員長

再開を告げる。（再開 午前11時58分）

#### ○源委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

#### ○源委員長

以上で質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第28号「令和元年度西予市一般会計補正予算（第8号）」子育て支援課所管分について、原

案に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

#### ○源委員長

挙手全員であります。

当委員会として原案どおり可決することに決しました。

以上をもちまして、昨日本委員会に付託されました議案についての審査は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会をいたします。

散会 午前11時59分

西予市議会委員会条例第30条第1項の規定によりここに署名する。

西予市議会厚生常任委員長